

令和5年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和6年2月28日
鳥取県病害虫防除所

表 ナシ黒斑病の越冬菌密度調査(令和5年度)

地 区	短果枝の病芽率 (%)			一年枝上の枝病斑数 (個/枝)			病枝率 (%)		
	本 年	前 年	平 年 ¹⁾	本 年	前 年	平 年 ¹⁾	本 年	前 年	平 年 ¹⁾
河原町	0	1.7	— ⁴⁾	0.3	0.1	— ⁴⁾	26.7	6.7	— ⁴⁾
佐治町	1.7	3.3	— ²⁾	0	0	— ²⁾	0	0	— ²⁾
青谷町	0	0	— ³⁾	0	0	— ³⁾	0	0	— ³⁾
八頭町	0	3.3	4.3	0	0.1	0.0	0	6.7	2.0
湯梨浜町(別所)	3.3	5.0	3.1	0	0	0.0	0	0	1.3
湯梨浜町(勝負谷)	0	3.3	0.7	0.1	0.3	0.1	6.7	13.3	3.3
倉吉市	0	0	1.4	0	0.1	0.1	0	13.3	3.3
北栄町(園試)	1.7	1.7	1.5	0.1	0.1	0.1	13.3	6.7	7.3
琴浦町	0	0	0.3	0	0	0.1	0	0	7.1
南部町	1.7	1.7	— ³⁾	0	0	— ³⁾	0	0	— ³⁾
平 均	0.8	2.0	1.9	0.1	0.1	0.1	4.7 ⁵⁾	4.7	4.1

(注)

- ¹⁾ 平年…平成25～令和4年度の10年間の平均値。
 ・ 1圃場あたり60短果枝および15新梢を調査。
 ・ 採取日は令和5年11月27日、12日20日
 ・ 調査日は令和5年12月4日～12月20日

²⁾ 令和3年度から調査地点を変更。

³⁾ 令和元年度から調査地点を変更。

⁴⁾ 令和4年度から調査地点を変更。

⁵⁾ 過去10年間のそれぞれの平均値と比べて低い値であるが、調査地点変更による影響で記載された平年値を上回る。

<要約>

令和5年11～12月に行ったナシ黒斑病の越冬菌密度調査の結果、短果枝の病芽率は0.8%と平年に比べて低く、一年枝上の病斑数は0.1個/枝と平年並、一年枝の病枝率は4.7%と平年に比べてやや低かった。

<対策>

黒斑病の越冬伝染源を減らすため、枝病斑の削り取り後のトップジンMペースト等の塗布剤を塗布し、病芽の切除を徹底する。取り除いた部位は、園外で処分する。